



行 1623



序



阪 山 書 林 大 印

富士の山に云はれ名ははるる。昔は  
 兄弟の標。二友祐経乃子づゝられたるは  
 おごうりに救せ。弟紙浄るるに終るもは  
 きぬむつと。今も不転ありて。世り去  
 ねびの橋ふまうんとまはれた。先弟さうみて  
 又ゆゑの事。其もはゆりて。まの向

をりてあそびまへしや清のこけり  
降おち瀉ぞうりうらひれ。あどりと末まへなぐく。  
よみ本もとおとと糸いとり敷ぢのほろめほろめえ  
えふ六年

正月吉日

作者八文字

自笑



其笑



送澤留鑑鑑

一之巻

目錄

第一 梅梅むめ咲さかまをて香かよ女中にゅうちゆうの出仕いだし

家いえくくりり澄すみふと清しみ月つきり

ううけけままととううららののああののをを

表うらのの志しれれぬぬスス家かががんんりりののりり

第二 白檀の指風をたまうてくる倭人

虎の子里狐村てふつと町

竹乃あるるさくあれうらめ

おころそえせふる我足骨う物四

第三 鏡乃引合羽のあえぬ十郎が難儀

つひつけの影く園のあがあ

家をどもとことどにぶとぬ

二乃さやのちるあが亭若

一 梅梅咲きく香上女中れ出仕

大かろうの乾元帝てとむじ。美民の丈せあれ又母

その武士れハ十氏の原にあぶあをる。文とあはるとして

字へさあふ右を傷の大將頼物つ坊。ろ平家と西海は

亡し。帝初と安し奥刃と平げ。文と磨さ武徳は

研く豫舎庭の威徳れ行。もあさく思まあり頃へ

建久四年正月二日。例年のことあさく。平賀の

おれ幸あがり百壽の間にくつせは。兼て御夜をれ

自とりつく。侍所の就工夜一着た妻。村を京の祐絶。

安西は七帝長武。あ人の下知とりつく。在豫舎乃

徳大名の奥方のくくは。清洲はけりもれへ。榮兼御堂







り。一家のほろもど。見ふぬとやが情と云ふ。見ふてハ  
二のまがをりみもあしめ。伊東が孫娘が情にあらぬ。ま  
ておそれとあきらみく。ごうふひへ。二のまを。あかま  
くはつと出。伊東の入。無事あまごも。成依はあきらま  
とれ。伊津のさあ。まとう。こまなり。何の道徳があつそ  
まう。ゆはと。対。さ。ま。の。方。が。不。依。の。ま。は。こ。う。て。成。依。は。  
れ。情。傷。に。く。ま。ご。あ。く。も。を。夫。よ。村。う。ら。ざ。り。孫。娘。侯。野。よ  
難。と。ゆ。づ。つ。の。ま。ひ。ま。う。く。う。と。れ。さ。も。く。と。き。く。人。伊  
咎。に。あ。ひ。う。ら。ま。の。娘。あり。ま。を。故。あ。つ。く。嫁。さ。う。ふ。何。れ。う。づ  
う。う。ら。人。和。田。后。の。奥。巴。田。あ。は。本。多。后。の。妻。か。う。い。や。い。二  
の。ま。が。妻。に。難。と。謝。り。成。依。の。ゆ。ぞ。ま。あ。一。ま。ま。と。出。て。あ。ま。  
その。や。う。げ。と。切。て。く。切。さ。げ。て。な。れ。ん。と。な。か。い。ひ。と。う。け。て。い。う。こ  
い。孫。娘。あ。ご。う。つ。く。我。妻。れ。は。お。と。ま。よ。い。孫。娘。と。如。伊。東。が  
孫。娘。と。成。依。面。は。ほ。け。ま。つ。う。う。才。が。孫。娘。た。う。切。て。い。う。こ  
た。カ。子。の。れ。い。ご。う。う。わ。う。く。は。め。う。す。二。の。ま。を。多。う。新。法  
城。さ。う。て。ま。じ。ま。い。孫。娘。よ。の。ま。ぬ。い。ら。る。け。る。ご。う。く。御。あ。あ  
い。制。さ。う。時。程。お。つ。ゆ。も。さ。う。い。女。の。ま。に。ま。ご。う。り。の。な。れ。い。ま。二  
の。ま。が。ふ。た。た。ま。の。妻。を。ま。い。の。う。う。い。と。ま。た。の。由。を。堂。々  
と。た。り。た。ふ。か。さ。わ。く。あ。ん。だ。う。く。い。孫。娘。と。や。う。り。守。り。て。ゆ。を。さ  
う。の。保。元。平。治。の。み。だ。れ。う。い。う。と。巴。田。后。の。合。戦。奥。田。退  
討。よ。ら。ま。ま。を。救。う。た。軍。に。お。く。ま。信。り。あ。お。ま。ま。の。産。産。教  
救。う。と。上。一。の。志。れ。ご。う。も。ま。う。と。す。く。それ。甲。曹。の。武。門。の  
要。害。が。ら。う。さ。う。ふ。と。も。と。ん。事。軍。神。へ。の。思。も。あ。れ。い。と。そ  
家。く。に。信。り。産。産。い。え。う。り。戦。場。と。も。分。る。る。名。して。敵。の。甲

り。一家のほろもど。見ふぬとやが情と云ふ。見ふてハ  
二のまがをりみもあしめ。伊東が孫娘が情にあらぬ。ま  
ておそれとあきらみく。ごうふひへ。二のまを。あかま  
くはつと出。伊東の入。無事あまごも。成依はあきらま  
とれ。伊津のさあ。まとう。こまなり。何の道徳があつそ  
まう。ゆはと。対。さ。ま。の。方。が。不。依。の。ま。は。こ。う。て。成。依。は。  
れ。情。傷。に。く。ま。ご。あ。く。も。を。夫。よ。村。う。ら。ざ。り。孫。娘。侯。野。よ  
難。と。ゆ。づ。つ。の。ま。ひ。ま。う。く。う。と。れ。さ。も。く。と。き。く。人。伊  
咎。に。あ。ひ。う。ら。ま。の。娘。あり。ま。を。故。あ。つ。く。嫁。さ。う。ふ。何。れ。う。づ  
う。う。ら。人。和。田。后。の。奥。巴。田。あ。は。本。多。后。の。妻。か。う。い。や。い。二  
の。ま。が。妻。に。難。と。謝。り。成。依。の。ゆ。ぞ。ま。あ。一。ま。ま。と。出。て。あ。ま。  
その。や。う。げ。と。切。て。く。切。さ。げ。て。な。れ。ん。と。な。か。い。ひ。と。う。け。て。い。う。こ  
い。孫。娘。あ。ご。う。つ。く。我。妻。れ。は。お。と。ま。よ。い。孫。娘。と。如。伊。東。が  
孫。娘。と。成。依。面。は。ほ。け。ま。つ。う。う。才。が。孫。娘。た。う。切。て。い。う。こ  
た。カ。子。の。れ。い。ご。う。う。わ。う。く。は。め。う。す。二。の。ま。を。多。う。新。法  
城。さ。う。て。ま。じ。ま。い。孫。娘。よ。の。ま。ぬ。い。ら。る。け。る。ご。う。く。御。あ。あ  
い。制。さ。う。時。程。お。つ。ゆ。も。さ。う。い。女。の。ま。に。ま。ご。う。り。の。な。れ。い。ま。二  
の。ま。が。ふ。た。た。ま。の。妻。を。ま。い。の。う。う。い。と。ま。た。の。由。を。堂。々  
と。た。り。た。ふ。か。さ。わ。く。あ。ん。だ。う。く。い。孫。娘。と。や。う。り。守。り。て。ゆ。を。さ  
う。の。保。元。平。治。の。み。だ。れ。う。い。う。と。巴。田。后。の。合。戦。奥。田。退  
討。よ。ら。ま。ま。を。救。う。た。軍。に。お。く。ま。信。り。あ。お。ま。ま。の。産。産。教  
救。う。と。上。一。の。志。れ。ご。う。も。ま。う。と。す。く。それ。甲。曹。の。武。門。の  
要。害。が。ら。う。さ。う。ふ。と。も。と。ん。事。軍。神。へ。の。思。も。あ。れ。い。と。そ  
家。く。に。信。り。産。産。い。え。う。り。戦。場。と。も。分。る。る。名。して。敵。の。甲





歌とあふみのみさこのあつらひ中におぼせられとあてさて後念と  
進ませしといふも人の惜まれり。あつらひ海とぞと。巻中ふりく  
らんくもよと。二の文をよめられむ。縁あれうもよふも  
いささし。無何りて金体とぞげり。な彩ひもくもよのゆた  
ありあつらひあつと云ひ。工後野とけよと云なれ。おれも縁  
とよそそ月控いなりぬ。サア何れははよと云のてに針さ  
い。武士れうの礼式盡してしてよまむ。

② 白檀の舟風舟押もまうて来る倭人

舟妻いぬてえ。ろろけむりなり。奥の古竹つぎ。船  
あつらひあつらひあつらひ。側ではよゆえ。あつらひあつらひの表  
細の表。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。  
長船下。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。船とよゆ。

もあつらひ。つぎとせ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
入とよ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
後家のあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。  
あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。あつらひあつらひ。

くとしたのまね。時費我の祓儀とくとおこみ。いばのふり  
日比ねのつと。又伊東の歌と名ようとえん。指さすれん  
他門のいさうと。しり。これに。二口とさひ。叔母持世女。家  
と。あも。い。肉。後。あり。と。家。底。の。祓。儀。の。婦。持。世。女。さ。ら。そ。く。祓。儀。  
一。も。さ。へ。く。是。と。幸。に。お。終。の。ま。ね。と。け。さ。さ。る。と。さ。し。こ。い。い。儀。よ  
つひ。甘。て。さ。や。し。と。い。事。へ。う。れ。が。み。い。れ。お。つ。と。祓。儀。よ。ら。何  
ば。が。怪。と。あ。つ。て。い。ご。う。罪。が。本。く。祓。儀。と。う。つ。ま。で。も。あ。く。さ。り  
の。男。ふ。は。命。と。さ。ら。ん。さ。も。ま。さ。と。び。又。い。ば。う。ま。た。と。ち。我。の。ち。あ。が  
せ。病。や。と。さ。う。は。款。討。の。ま。り。り。ら。あ。つ。と。さ。ひ。て。祓。儀。ご。の。指。よ  
倭。奸。と。う。ぐ。さ。よ。も。ま。さ。と。び。何。と。な。い。大。事。れ。お。俵。下。と。や。の。後。家  
此。に。と。ま。さ。い。け。さ。の。ま。い。親。も。へ。て。れ。祓。儀。の。普。我。の。ち。あ。が。さ。ら。に。お。か  
と。二。口。の。い。ば。後。家。と。女。底。に。り。よ。と。さ。し。こ。い。と。つ。れ。れ。れ。あ。つ。い  
う。く。と。後。家。ご。う。ま。れ。妻。と。う。ま。め。と。う。性。根。と。う。つ。て。い。款。討  
の。を。た。へ。た。へ。と。と。め。と。評。判。と。さ。ま。ま。あ。ん。の。ま。た。う。成。人。と。う。に。は。い  
親。御。と。い。は。は。い。と。さ。あ。ま。い。い。ば。が。怪。と。う。ま。の。う。て。普。我。の。一  
方。普。我。の。お。ま。な。れ。い。ど。う。り。の。恐。あ。る。と。お。ま。さ。ら。と。増。え。い  
て。そ。う。ひ。よ。せ。ら。か。い。色。に。さ。と。い。義。理。と。ま。ま。れ。う。あ。と。と。を。因。性。の  
か。と。う。さ。あ。み。ご。り。り。り。事。あ。ら。う。い。よ。の。物。本。と。普。我。の。家。一。家  
へ。い。れ。た。つ。め。よ。ま。ま。ぬ。の。ま。ご。り。あ。く。あ。ま。う。さ。無。非。れ。本。ま。に。ま  
に。血。判。と。い。え。兄弟。親子。か。ど。の。お。と。く。い。ど。や。も。い。つ。て。あ。中。な。い。に  
祓。儀。の。の。ち。と。穿。へ。う。が。あ。さ。り。に。せ。ま。う。て。福。死。の。後。一。万。八。元  
版。して。十。市。祓。儀。と。名。を。あ。て。る。我。の。家。と。お。俵。一。福。金。を。お。各  
に。配。あ。と。り。大。名。と。一。府。と。さ。ら。一。町。に。ま。う。て。奉。還。と。い  
し。は。よ。長。ど。ろ。に。さ。ら。り。千。あ。で。後。家。と。大。塚。の。な。ま。ふ。い。ま。と。う

（左）  
（右）

まれつと母のよまへ町ものあつてえとつらさなり。あも、う虎と入  
 て。ふよ風呂へ入てももの。湯へ入て垢をうぐ。若ま切くりよ  
 とつて後見の知りあううさうさで扱ひ。これ新袴と紫袴の類  
 指しあへて風呂脂と名づけく。脚と口人ほどは、う神懸  
 にあ良の像伽羅の美。そのやちあねと、う肉は、色綿の透ひ  
 こそ。唐織の湯風呂。経貴の宿衣。けあぐれ。せそ衆のよ  
 めぐひ。うろと扱ひうり立うつて。うぐやうしやうぶ。うけくやう。  
 十七八より廿四入とれ。美女。二千人ああつて。ませう。とらり  
 ながう。反扱かすませうと。盡すれ肉に、こ小袖おね織と。う  
 に粹ある十部なれた肉の事。まきへと。お合深はく。れつと  
 ありせれ小袖。え、ううりれ。うさばく。れ拾ね織。うでい。え、う。ま  
 たるもの丸ぐけ。あにひまひま。うでう。え、う。と。う小袖。う、う

りを。虎も赤地の袴。れ新。うぐつて。いびろう。う、う。と。代用。の  
 後。遣。安。ず。あ。へ。虎。が。扱。ひ。り。れ。う。う。と。ま。く。新。の。う。あ。へ。側  
 物の。ね。は。園。九。部。ゆ。う。か。て。反。扱。く。む。を。う。う。と。ま。ま。あ。り  
 と。い。は。い。ち。虎。は。湯。あ。ら。ゆ。ち。か。休。む。扱。ひ。て。ま。ま。う。新。の。大。ま。ま  
 かの。ゆ。れ。あ。ら。う。後。ぞ。も。あ。ら。せ。と。う。つ。の。や。ち。と。あ。ら。ま。ま。ま。と。ざ。り  
 ま。ま。ら。は。え。反。扱。く。と。ゆ。り。か。ま。れ。か。ん。よ。園。九。部。の。う。ゆ。う。ひ。で。も  
 あ。つ。て。め。し。よ。ま。ま。さ。う。と。群。あ。れ。た。い。ひ。ひ。と。か。れ。か。ま。ま。ま。と。ざ。り  
 ゆ。れ。大。切。な。後。と。つ。ま。は。虎。と。う。め。女。中。の。ま。ま。く。を。ま。ま。て。て  
 次の。う。人。を。り。ぞ。け。は。園。九。部。を。だ。ら。う。く。は。あ。り。う。り。う。あ。ら。ま。ま。に。あ。て  
 大。切。な。め。し。よ。ゆ。と。う。の。う。か。虎。の。ま。ま。と。ざ。り。ま。ま。ま。ま。大。反。扱。と。あ  
 ち。れ。を。ま。ま。織。ね。よ。日。に。は。ひ。て。か。あ。ひ。る。ま。れ。と。松。兄。の。園。九。部  
 ま。ま。そ。の。あ。ら。ま。ま。と。ま。ま。う。と。れ。た。は。義。う。あ。く。お。あ。ら。む。あ。ら。ま。ま。ま。ら。う

大反扱





根之のやせをさし若王丸。出家御圓りて美父には友の  
 言控と弟へのまじ洲なり。大恩ある孝父祐佐力の御よそ  
 ひさ。心腹としてには友の款とうりた。いふおれを美父の志  
 はずくせられた。育あきささう祐佐力へ。何と云うけが立ぞ  
 美父には友の死をささる。河津の家にはささる。おれ毒を  
 も粗束とてあさゆき。墓れおれまうあひなり。と。曾我の祐佐  
 力といふ大ぬれ奥よりけり。げり。に。兄の墓下まで。石垣  
 玉垣おほひて。命日。忌日。親族も。お中。に。おさうくする  
 事。皆。祐佐力の恩なり。げや。美父の款。候中のみ。おこも。  
 工。後。祐佐力とも。その間。さう。あ。祐佐力。と。く。す。内。さ。あ。い。兄  
 いう。ま。れ。候。よ。十。弟。祐佐力が。討。て。い。武。士。れ。お。れ。も。一。分。と。う。ろ  
 事。し。れ。い。どの。方。い。出。れ。ぬ。れ。お。れ。と。ち。り。お。お。り。て。美。父。は。お。れ。又

の。親。と。さ。う。へ。サ。ハ。母。ぐ。う。ま。ま。で。り。と。ゆ。い。と。と。く。も。あ。く。お。れ  
 父への。サ。ハ。け。ぬ。せ。生。ま。せ。れ。お。れ。ど。と。お。れ。と。た。と。後。と。な。て  
 して。お。れ。が。お。れ。も。せ。り。と。い。ふ。お。れ。と。の。方。う。志。と。う。ろ。事。を。れ  
 とも。い。ま。母。人。に。お。れ。う。お。れ。い。と。む。れ。ぬ。人。は。お。れ。と。あ。れ。か  
 美父へ。さ。う。る。者。い。美母への。お。れ。と。か。ら。あ。と。う。く。お。れ。と。け。て。お  
 ち。せ。よ。と。い。ひ。お。れ。と。丸。と。を。あ。う。た。力。と。り。立。し。と。い。ふ。人。と。う。ろ  
 す。り。と。わ。い。と。く。意。に。候。さ。う。梅。の。大。本。お。れ。と。う。ろ。お。れ。と。う  
 ろ。と。切。と。く。親。の。こ。れ。工。後。祐佐力。その。方。に。う。れ。さ。う。お。れ。は。う  
 二。男。お。れ。と。い。ふ。お。れ。の。う。お。れ。と。か。ら。い。と。く。あ。い。ひ。い。と。大。枝。た。ま  
 ら。ん。切。て。と。お。れ。親。父。作。入。の。款。お。れ。と。お。れ。と。う。ろ。眼。の  
 一。た。力。と。だ。ら。ん。と。う。ろ。と。サ。ハ。兄。お。れ。と。い。ふ。人。母。人。の。お。れ。と。お。れ  
 ても。お。れ。と。う。ろ。と。い。ふ。お。れ。と。い。は。お。れ。と。お。れ。と。う。ろ。と。一。ふ。に。款。と。討。ん



女の上使

おまむり  
おまむり  
おまむり

二の丸

どうも  
おまむり  
おまむり



うしろ  
おまむり

大いその  
おまむり  
おまむり

おまむり  
おまむり  
おまむり

おまむり  
おまむり  
おまむり



よのふゆへうかたに際とて母人の勲業とつふ行とつうけさう  
 ばでござうとまめつと母のけささうつととめや方とん色  
 マレまれ勲業とつひいその方がおれさまじとらんわま  
 たら十命といハ命してあうらう母が慈無さや藏い兄の  
 十命に秘經とうをその方よは物あさせ並父の歌討はもれ  
 ころ優めけし。鎌倉申れ秘大巻にゆめさせて侍あなれた  
 より秘云とを。ゆは飯の志とほさう人との母がひひひ。今の  
 心でいあひまといふた。忠よは世の中。秘教と秘を  
 事。まらんでもささうれてい。奉をいさせられん。それゆへ  
 ござうだそれ勲業。ごん出あ。秘のまねはあとく。さう  
 ひ教は秘經のらまにゆめあはれがさもむりか。その  
 方ハ秘けいあ坂へ入らみ。まりら秘坊中人秘根の別あ  
 つひいもまごい。母の勲業とつひいもまごい。まごいもまごい  
 中のうて。秘教とあさとむく。うとのまごい。おまごい  
 合点。まごい。兄十命あ。まごい。秘經と秘。まごい。おまごい  
 頼明とわらう。母あ。まごい。秘とひうて。まごい  
 中まらう。秘。秘のまごい。鬼王新なる。あさ。まごい。まごい  
 中頼明と。まごい。秘。まごい。まごい。秘。まごい。まごい  
 こそまごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい  
 いと下あ。まごい。母もおまごい。奥のまごい。まごい。まごい  
 ひる。鬼王新なる。秘。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい  
 で居らりけつ。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい  
 かう。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい  
 くらあ。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい。まごい



けしき。ナリ。是。難。多。く。な。つ。て。口。の。グ。ー。も。え。な。ら。遠。近。の。子  
 くと。後。に。ゆ。え。も。人。の。間。に。後。う。く。か。ら。り。お。れ。ま。す。  
 と。い。ふ。母。も。お。家。を。さ。の。か。も。お。さ。れ。て。さ。る。け。り。あり。  
 時。は。次。の。方。に。藤。子。と。つ。つ。と。さ。ら。の。禮。の。ゆ。に。つ。つ。と。り。よ。な。事。  
 あり。と。い。ふ。声。は。う。う。う。花。景。園。の。多。と。さ。へ。一。見。見。園。を。見。  
 藤。子。と。あ。く。ま。じ。な。る。ふ。小。子。に。志。を。な。れ。さ。う。う。り。ナ。り。お。れ。ケ。  
 指。を。ま。し。に。も。あ。う。よ。と。な。じ。て。是。の。う。う。に。な。れ。ま。せ。い。と。り。  
 と。ま。う。と。な。れ。た。は。親。に。な。ら。う。と。思。ひ。も。な。れ。な。く。な。る。ゆ。え。  
 悔。し。さ。り。と。や。あり。指。は。ゆ。れ。ま。せ。ど。お。も。い。ま。ま。さ。り。な。ら。う。  
 お。ま。の。の。い。う。も。ゆ。な。う。う。あ。め。て。の。ゆ。き。さ。は。う。う。こ。さ。り。ま。  
 せ。う。い。と。は。指。を。ア。と。ま。す。る。う。い。ん。ナ。り。た。娘。の。子。雲。と。り。傾。城。  
 と。藤。子。と。な。れ。ま。す。る。に。と。い。ふ。と。さ。ら。と。見。あ。な。ら。か。わ。や。い。る。や。  
 首。中。に。お。か。を。せ。ば。福。強。コ。リ。ヤ。園。の。多。禮。の。お。衆。と。白。水。と。さ。ら。  
 園。の。多。と。が。せ。親。と。こと。ゆ。め。さ。る。に。ナ。り。も。園。の。多。が。お。人。で。い。  
 せん。と。れ。も。ゆ。り。な。く。あ。る。故。本。面。と。さ。ら。と。な。り。な。り。ま。な。ら。  
 加。と。ゆ。め。ひ。只。今。あ。ら。う。一。云。と。な。り。何。と。中。人。に。お。れ。交。に。  
 も。お。も。と。指。が。巧。あ。ら。う。い。お。り。更。何。の。心。意。を。く。お。さ。ら。あ。  
 ぞ。れ。た。親。が。あ。で。と。な。れ。た。お。い。し。分。れ。賓。を。お。い。な。い。と。う。い。と。  
 何。と。て。あ。が。日。の。悪。心。よ。う。い。と。さ。ら。と。更。れ。切。害。が。う。り。と。  
 丁。を。穿。へ。か。る。指。を。あ。ら。う。い。何。も。せ。よ。禮。の。事。只。今。は。後。ん。  
 に。入。ご。と。い。別。は。お。め。ら。れ。る。旨。う。あ。る。と。お。が。り。切。て。い。い。こ。の。美。  
 こ。の。と。く。ぐ。り。て。あ。ら。う。い。お。ら。う。い。ひ。て。さ。ら。う。い。れ。た。せ。ん。

コヨア

七終



